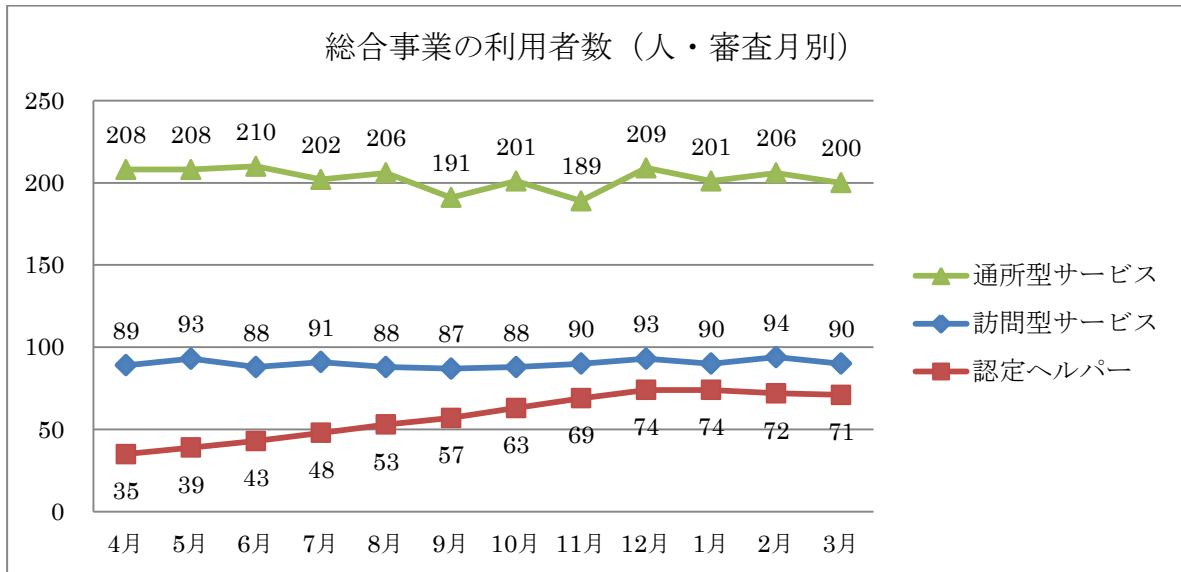


平成30年度介護予防・日常生活支援総合事業の実績報告

1 利用者数

○訪問型サービス、通所型サービスとも横ばい傾向にある（3月審査分の前年度比較では、訪問型サービスが4.3%減、通所型サービスが4.3%減）。

○訪問型サービス全体の利用者が横ばいで推移している中、認定ヘルパーの利用者については、増加傾向にある。

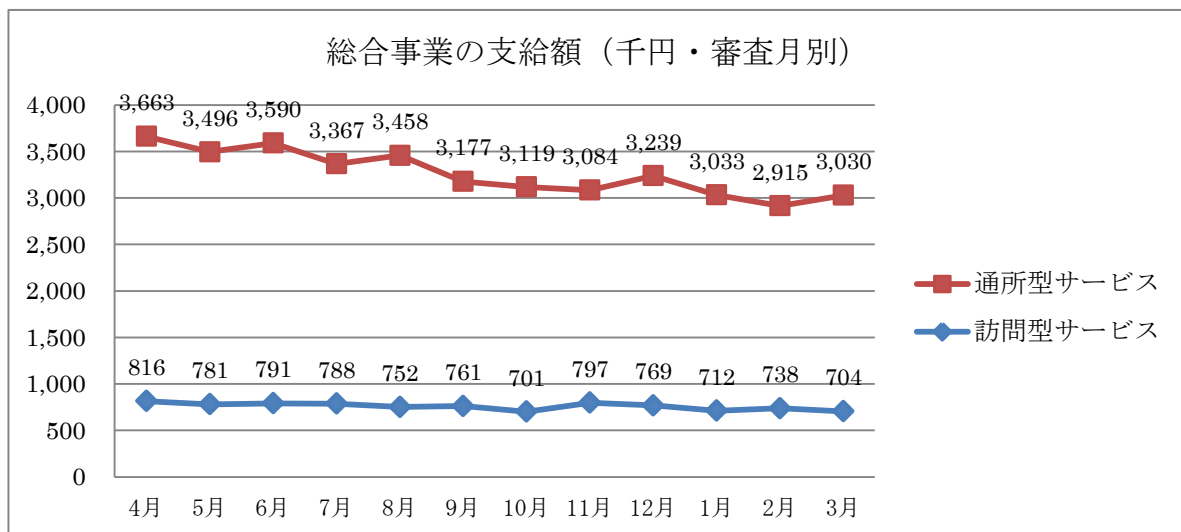


*各月の数値は審査データによるものであり、実際の利用（サービス提供）は概ね前月分

*認定ヘルパーの利用者数は、市内の住所地特例対象施設入所者（他市被保険者）を含む。

2 支給額

○訪問型サービス、通所型サービスとも減少傾向にある（3月審査分の前年度比較では、訪問型サービスが14.2%減、通所型サービスが10.0%減）。



*各月の数値は審査データによるものであり、実際の利用（サービス提供）は概ね前月分

3 武蔵野市認定ヘルパーの養成

○6～7月及び2月に通常の養成研修を、7月及び10月に養成研修と同等のカリキュラムを含む研修等を履修している者に対して一部の研修科目の履修を免除した養成研修を実施し、計35人のヘルパーを新たに養成した。

○幅広い層（年代）が受講しやすい研修とするため、6～7月の養成研修については、実施期間を3日間（1日当たり6時間）から8日間（1日当たり2時間15分）に変更した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
認定者	120	120	120	120	139	139	150	150	150	150	150	155

4 一般介護予防事業

○一般介護予防事業の地域リハビリテーション活動支援事業において、いきいきサロン等の住民主体の集いの場に講師を派遣し（全12回）、介護予防に資する体操等を指導する介護予防活動団体支援事業を実施（生活体操研究会に委託）した。いきいきサロン活動団体の1団体が本事業を利用した。

○介護予防事業の関係課、関係団体で構成する武蔵野市介護予防事業連絡調整会議において、啓発パンフレット「市民みんなで目指す「健康長寿のまち武蔵野」」の改訂版を作成した。